

全校朝会「ゆっくり成長」5/9

G.W.が終わって、いつもの学校が戻ってきました。4月は一つずつ学年が上がって、みなさんととも一生懸命学校生活を過ごしていました。今日も元気に登校してきて、素晴らしい5月になりそうです。これからも、みんなですらに楽しい学校にしていきたいと思います。

さて、今日は、みなさんが小学校に入る前より、もっと小さかった頃のお話から始めます。スライドを見てください。

赤ちゃんの頃、生まれて1ヵ月頃、目に映るものをじっと見ていました。2ヵ月頃は、よく笑うようになりました。3ヵ月頃には、頭をぐりんぐりん動かしています。

そして、4ヵ月頃から、首がすわるといって、自分で頭を支えています。5ヵ月頃は、手の届くものは、何でもつかむようになります。その後も、寝返り、はいはい、つかまり立ち、伝い歩きと、どんどんできるようになりました。

もちろん、それぞれの時期には差がありますが、みんなこうして大きくなってきました。1歳以降も、ぐんぐん成長して、いろいろ指をさしたり、人見知りをしたり、体を動かすことや真似すること、何でも自分で出来るよと、イヤイヤ期に入ったりしました。

遊び方も、大きくなるとともに変わってきました。小さな頃は、自分一人やお友達と「ごっこ遊び」をよくしていました。小学校に入る頃には、たくさんのお友達と遊ぶようになり、3・4年生では、しっかりルールを守りながら遊び方も複雑になりました。

みなさん自身は、どうでしょう？ たぶん、一人一人違うと思いますが、こうして、少しずつ成長してきています。

少し見方を変えると、1・2年生の頃は、自分のことを知ることが、とても大切な時期と言えます。自分の得意なことや苦手なこと、好きなことや嫌いなこと、一人一人違って当たり前です。

3・4年生の頃は、相手の気持ちも考えるようになります。遠足ではみんなで協力し声を掛け合いながら、自分が楽しむ以上に相手の気持ちを考えながら行動できました。だからいい遠足になりましたね。

5・6年生は、自分のことや相手のことはもちろん、もっと先の社会に目を向けるようになります。自分が社会の一員としてどうするかを考えるようになるということです。

1・2年生は、まだまだ自分のことを中心に考えている時期かもしれませんが、自分のことをよく知って、お友達のことも考えている子がたくさんいます。3・4年生は、いつも相手を思う気持ちを大切にしている子が多いと思います。お友達に嫌な気持ちにさせても、自分さえよければいい、という考えはとてもよくないですね。5・6年生は、少しずつ社会に目を向けて、自分一人ではなく、他の人と協力して何かを成し遂げていくことを学んでいます。

オギャアと生まれてから、みなさんは、こうして段階を追って、時には行ったり来たりしながらも確実に成長しています。人と比べたり、あせったりせず、ゆっくり歩いていきましょう。先生たちも、みなさんが安心して学校生活を送れるように頑張ります。困った時は、何でも相談してください。



出典：幼児の行動の変化で見られる発達状況の年代別図

